

伊方町 町見郷土館

研究紀要

第2号

佐田岬半島史考 一水軍編一	榊田佳明	3
史料紹介・野坂権現関連史料	榊田佳明	15
史料紹介「三机紀行」	柚山俊夫	33
農林水産業の建築遺産について 一伊方町を例に一	二村 悟 (50)	67
佐田岬半島地域のサネモリ様	高嶋賢二 (45)	72
伊方町における近世花崗岩製石造物 一神社編一	黒川信義 (29)	88
八西地方の地瓦をたずねて	木村明人 (7)	110
生物環境試料バンク (es-BANK) に収められた 伊方町の爬虫類、鳥類と哺乳類	松田久司 (5)	112
伊方町におけるコシビロダンゴムシ科の ダンゴムシについて	松田久司 (2)	115

2014年3月

町見郷土館

伊方町におけるコシビロダンゴムシ科のダンゴムシについて

松田久司

はじめに

ダンゴムシはおそらくほとんどすべての人に知られており、そして人気がある。オカダンゴムシはヨーロッパ原産の帰化種で世界共通種であるが、嫌われもせずどちらかといえばよい印象を持たれている。しかしオカダンゴムシ以外の種については一般的にはほとんど知られていない(奥山・みのじ, 2013)。オカダンゴムシは人家の周辺には見つかったも、少し離れた森林の中にはおらず、そこには小型のセグロコシビロダンゴムシがおり、セグロコシビロダンゴムシは日本在来とされている(渡辺, 2002)。さら、セグロコシビロダンゴムシは一定規模以上の安定した森林で、その林床も乱されず、落葉の自然堆積がみられるような環境に生息する。一方オカダンゴムシの方はより明るい、開放的な環境にも生息するので、セグロコシビロダンゴムシのような指標性はない。しかし、この2種を組み合わせることにより、都市化による環境変化をみるうえで利用価値が高いとされている(大野, 1985)。セグロコシビロダンゴムシを含むコシビロダンゴムシ科には22種が掲載されている(青木, 1999)が、セグロコシビロダンゴムシとされているものの中に、未記載種のものを含め複数の種が混同されており、現段階では困難とされている(奥山・みのじ, 2013)。オカダンゴムシを含むオカダンゴムシ科とコシビロダンゴムシ科は、腹尾節が後方に細くなっているか、腹尾節が後方に向かって広がるか平行で識別でき(青木, 1999)、それは目視か、虫眼鏡を使うことで行うことができる。コシビロダンゴムシ科のダンゴムシが伊方町に生息するか調査を行ったので、ここに報告する。

調査方法

調査は、2013年4月28日に道路から林に入れる伊方町川永田、九町、二見の6か所で行った。上段が格子状になった二段式の容器(商品名:水切りバット)に落ち葉と土壌を一緒に入れ軽くふるって、格子から下段におちたものなかからダンゴムシを探した。それを林の中で場所を変えて、10回行った。なお、上段の容器は、底辺の大きさが220mm×300mmで、6mm

×30mmの格子が7行×14列ついている。

結果

調査を行った6か所のうち3か所でコシビロダンゴムシ科のダンゴムシが確認でき、3か所では確認できなかった。調査を行った場所と生息の有無を表1に、調査場所を図1に示す。確認できなかった3か所は、グラウンド横の林、ミカン畑の横の林、および国道197号線近くの路側帯横の林であった。また、確認できた林はいずれも落葉高緑樹と常緑広葉樹の混交林であった。伊方町でコシビロダンゴムシ科のダンゴムシが生息しており、ダンゴムシは環境をはかる指標として使用できると思われる。

(まつだ・ひさし

環境カウンセラー・佐田岬みつげ隊)

謝辞

毛利俊樹氏には、ダンゴムシ調査のやり方を教えていただいた。橋越清一氏には文献の閲覧についてご配慮いただいた。黒田慧史氏には調査を手伝っていただいた。記してこれらの方々に感謝の意を表したい。

引用文献

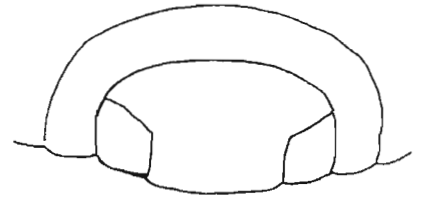
- 青木淳一, 1999. ワラジムシ目. 日本産土壌動物一分類のための図鑑検索, p. 570-625. 東海大学出版会, 東京.
- 奥山風太郎・みのじ, 2013. ダンゴムシの本. 144pp. DU BOOKS, 東京.
- 大野正男, 1985. ダンゴムシ. 指標生物—自然をみるものさし—, p. 210-213. 自然保護協会, 東京.
- 渡辺弘之, 2002. 追われる日本産ダンゴムシ. 土壌動物の世界, p. 70-81. 東海大学出版会, 東京.

表1. 調査を行った場所と生息の有無

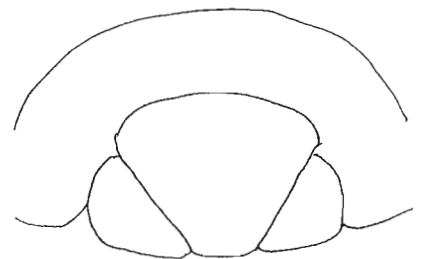
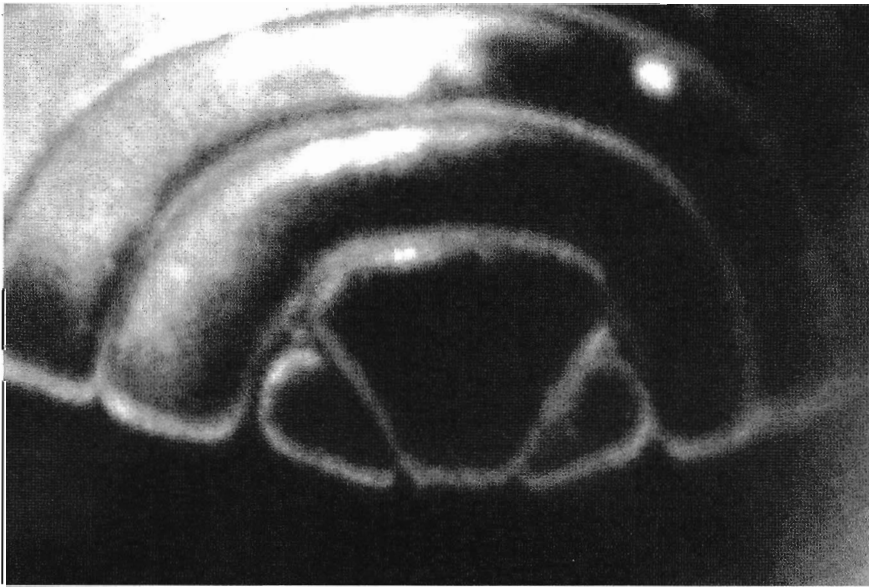
項番	場所	生息の有無	住所	緯度 (世界系10進)	経度 (世界系10進)	3次メッシュ
1	町民グラウンド横	×	伊方町川永田	33.4796	132.3253	50321276
2	豊之浦北側	×	伊方町九町	33.4750	132.3199	50321265
3	郷土館南側	○	伊方町二見	33.4680	132.2946	50321253
4	伊方越バス停近く	×	伊方町九町	33.4840	132.3215	50321275
5	川永田第一橋北側	○	伊方町川永田	33.4853	132.3331	50321276
6	川永田トンネル北側	○	伊方町川永田	33.4877	132.3349	50321286



図1. 調査場所（生息の有無を●と×で表わす，1-6は表1に対応．
国土地理院の数値地図25000を背景図として作図）



セグロコシビロダンゴムシの腹尾節



ダンゴムシの腹尾節

伊方町 町見郷土館 研究紀要

第2号

発行 平成26年(2014)3月30日

編集・発行 伊方町 町見郷土館

〒796-0422 愛媛県西宇和郡伊方町二見甲813-1

TEL&FAX (0894) 39-0241